

こんな場面を想像してみてください。前から歩いてくる人がいます。気温も高いし、屋外なので、その人はマスクをあごの下まで降ろしていました。その人が、あなたとすれ違う前に、マスクを鼻が隠れるところまで持ち上げました。さて、この人の行動について、あなたはどのように解釈するでしょうか。今回はここから、心の成熟について考えてみましょう。

「なんだよ、疑いやがって」

こう考える人は、自分がウイルスを持っていることを相手から疑われている、と解釈しているようです。裏を返すと、自分がウイルスを持っている可能性をあまり考えていないようです。つまり、自分は潔白なのに、あらぬ疑いを向けられていると考えて、腹を立てている状態です。

この場合、自分が相手の立場になったときには、「あいつはウイルス持ってるかもしれないからマスクを上げよう」という考えになりそうです。

いずれにしても、自分は悪くないし、相手に害をもたらすことなどあるはずなのに、変な奴から嫌な思いをさせられる、という発想のようです。このままだと、自分を省みることはできなさそうですし、自己防衛のためにますます頑なになってしまいそうです。



「万が一うつきないように考えてくれたんだな」

こう考える人は、相手は万が一のことを考えて、自分を気遣ってくれたと解釈しているようです。裏を返すと、自分自身も無症状感染している可能性を暗に受け入れているようです。つまり、自分も相手も無症状感染かもしれないから、お互い気をつけましょうね、と思いやっている状態です。

この場合、自分が相手の立場になったときには、「自分もウイルス持っている可能性あるからマスク上げよう」という考えになりそうです。

この発想だと、自分が害をなす可能性も考慮されているので、自分を省みて、互いに思いやりを持つことができそうです。

